

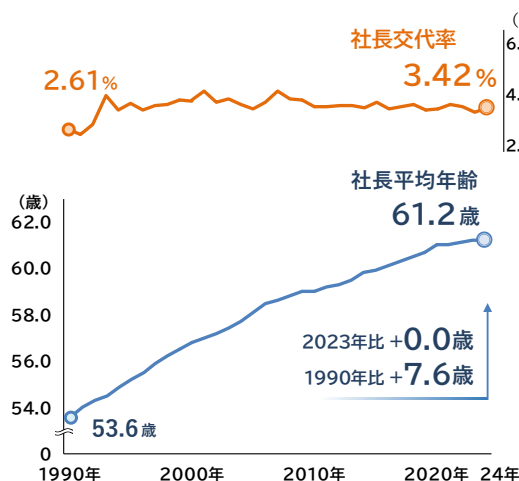
神奈川県「社長年齢」分析調査（2024 年）

社長の平均年齢、前年比横ばいの 61.2 歳 ～ 社長交代率は 3.42% で全国平均を下回る ～

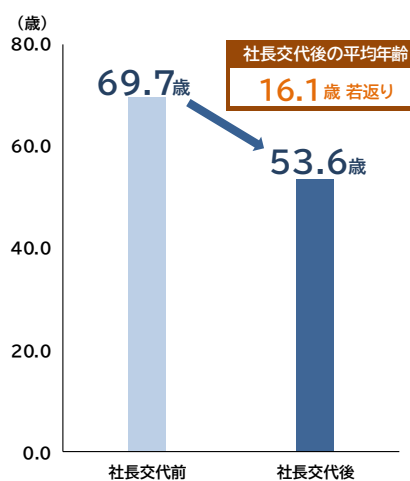
「団塊の世代」の多くが後期高齢者に達し、事業承継の課題が一層深刻になるといわれている「2025 年問題」を今年迎える。帝国データバンク横浜支店が実施した調査ⁱでは、2024 年における神奈川県の後継者不在率は過去最低の 60.5% と改善傾向にあるものの、全国平均を上回る状態が続いている。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化に歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。

帝国データバンク横浜支店は、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 148 万社収録）から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

社長平均年齢/社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



調査結果（要旨）

- 2024 年時点の社長の平均年齢は前年比横ばいの 61.2 歳。過去 35 年間で 7.6 歳上昇。
全国平均 (60.7 歳) を 0.5 歳上回る。
社長が交代した割合は 3.42%、前年から 0.15pt 上昇も 17 年連続の 3% 台。
- 「50 歳以上」の社長は 84.0%、「70 代以上」は 26.8%。
- 業種別では「製造」が 63.2 歳で最も高い。

ⁱ 帝国データバンク横浜支店『神奈川県「後継者不在率」動向調査（2024 年）』（2024 年 12 月 5 日発表）

社長平均年齢、前年から横ばいの 61.2 歳

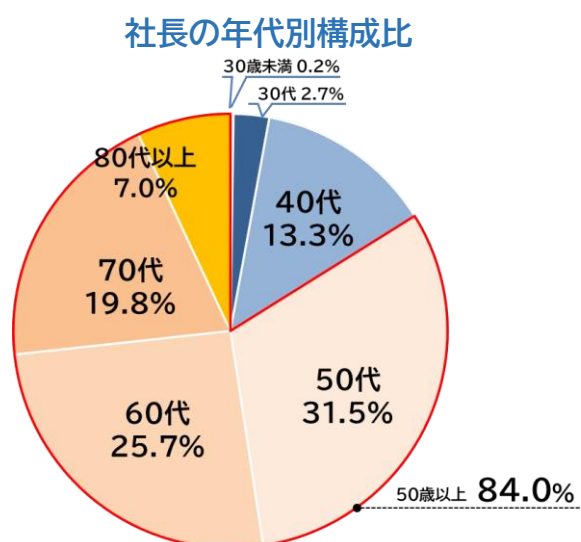
神奈川県の社長平均年齢は、統計として遡れる 1990 年からほぼ一貫して上昇し続けているが、2024 年は前年から横ばいの 61.2 歳となった。2024 年における社長交代率は 3.42% となり、17 年連続の 3% 台となった。前回調査（3.27%）から 0.15pt 上昇したものの、全国平均（3.75%）を 0.33pt 下回るなど、引き続き低水準で推移している。社長の世代交代に活発な様子は見受けられない。

社長が交代する際の年齢は平均で 69.7 歳となり、前回調査（69.5 歳）から 0.2 歳上昇した。高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクがともなうなかで、70 歳近くで後継者にバトンタッチをしている結果となった。また、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は 53.6 歳となり、16.1 歳の若返りがみられた。

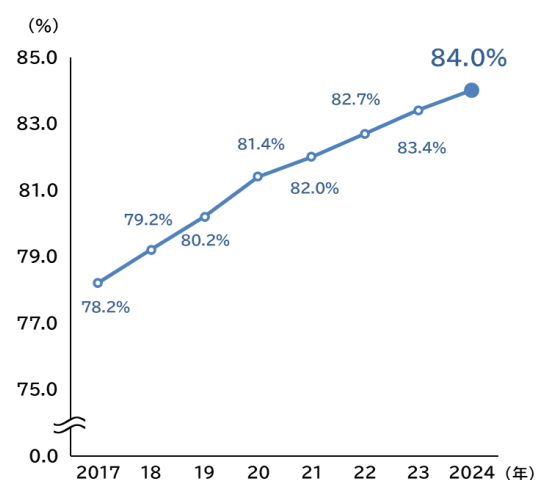
<年代別構成比> 「50 歳以上」の社長は 84.0%、「70 代以上」は 26.8%

2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 84.0% となり、2017 年時点（78.2%）と比較すると 5.8pt 上昇した。そのうち 70 代以上は 26.8% となり、社長の 4 人に 1 人は 70 歳以上の高齢者で占められていることがわかった。なお、80 歳以上は 7.0% となった。

近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者にも注目が集まっているものの、「40 歳未満」は 2.9%、なかでも「30 歳未満」はわずか 0.2% に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。



社長が「50歳以上」の割合（各年推移）



＜業種別＞ 「製造」が 63.2 歳で最も高く、「卸売」「不動産」が続く

社長平均年齢を業種別にみると、「製造」が 63.2 歳で最も高く、「卸売」（62.4 歳）、「不動産」（62.0 歳）が全体の平均年齢を上回った。1995 年と比較すると、「運輸・通信」、「その他」を除く 6 業種で 6.0 歳以上の上昇となった。「卸売」（1995 年比 6.7 歳増）が最も増加し、「サービス」（同 6.5 歳増）、「建設」「小売」（同 6.4 歳増）と続いた。

社長の平均年齢（年推移）

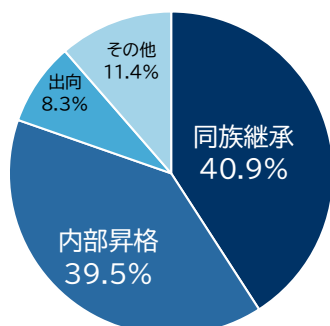
	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	対95年比
全体	55.2	56.8	58.1	59.0	59.9	61.0	61.2	+6.0
建設	54.2	55.9	57.3	57.9	58.8	60.0	60.6	+6.4
製造	56.9	58.5	59.8	60.9	62.2	63.1	63.2	+6.3
卸売	55.7	57.4	58.9	60.2	61.2	62.0	62.4	+6.7
小売	54.8	56.7	58.2	59.6	60.5	61.3	61.2	+6.4
運輸・通信	56.4	57.4	58.6	59.5	60.0	60.7	60.6	+4.2
サービス	53.6	55.4	56.7	58.0	59.0	60.0	60.1	+6.5
不動産	55.8	57.7	59.2	59.7	60.9	62.2	62.0	+6.2
その他	56.7	57.6	59.2	58.8	58.5	60.3	61.1	+4.4

＜就任経緯別＞ 同族継承と内部昇格が多くを占める

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族継承」が 40.9%で最も高く、「内部昇格」が 1.4pt 差の 39.5%で続いた。「出向」は 8.3%だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、交代前の平均年齢が最も高いのは「同族継承」の 74.4 歳で、最も低いのは「出向」の 62.7 歳。交代後では「出向」が 58.8 歳で最も高く、「同族継承」は 49.5 歳で最も低かった。交代前と交代後の年齢差でみると、「同族継承」が 24.9 歳で最も開きが大きく、若返りが大幅に進んでいる。

就任経緯の比率



就任経緯別・社長交代における平均年齢の変化

就任経緯	平均年齢		年齢差
	交代前	交代後	
同族継承	74.4	49.5	24.9
内部昇格	67.3	55.3	12.0
出向	62.7	58.8	3.9
その他	63.3	53.4	9.9
全体	69.7	53.6	16.1

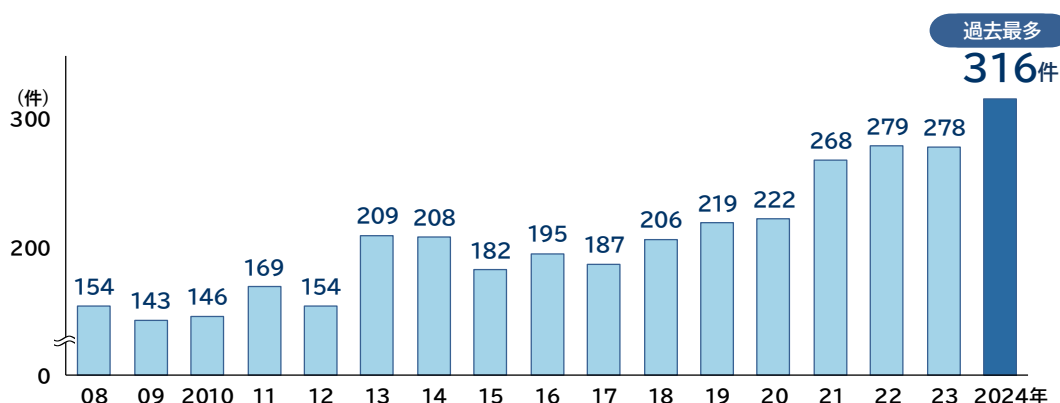
※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

今後の見通し：高まる「社長の高齢リスク」

神奈川県における 2024 年の社長平均年齢は前年から横ばいの 61.2 歳となった。1990 年（平均 53.6 歳）と比較すると 7.6 歳上昇しており、高齢化に歯止めがかからない。また、社長交代時の平均年齢は 69.7 歳と、70 歳に迫る高水準であった。2024 年の社長交代率は 3.42% と低位にとどまっており、このまま社長交代率が改善しなければ、さらに社長平均年齢は上昇しそうだ。

2024 年度に発生した後継者難倒産は 507 件（全国）にのぼり、そのうち「経営者の病気、死亡」による倒産は 316 件判明するなど過去最多を記録した。社長の高齢化が進むと、不測の事態が生じる可能性は自ずと高まる。円滑な事業承継を確実に進めていくためには、計画的かつ余裕のある準備が必要となろう。

「経営者の病気、死亡」を主因とする倒産の件数（全国）

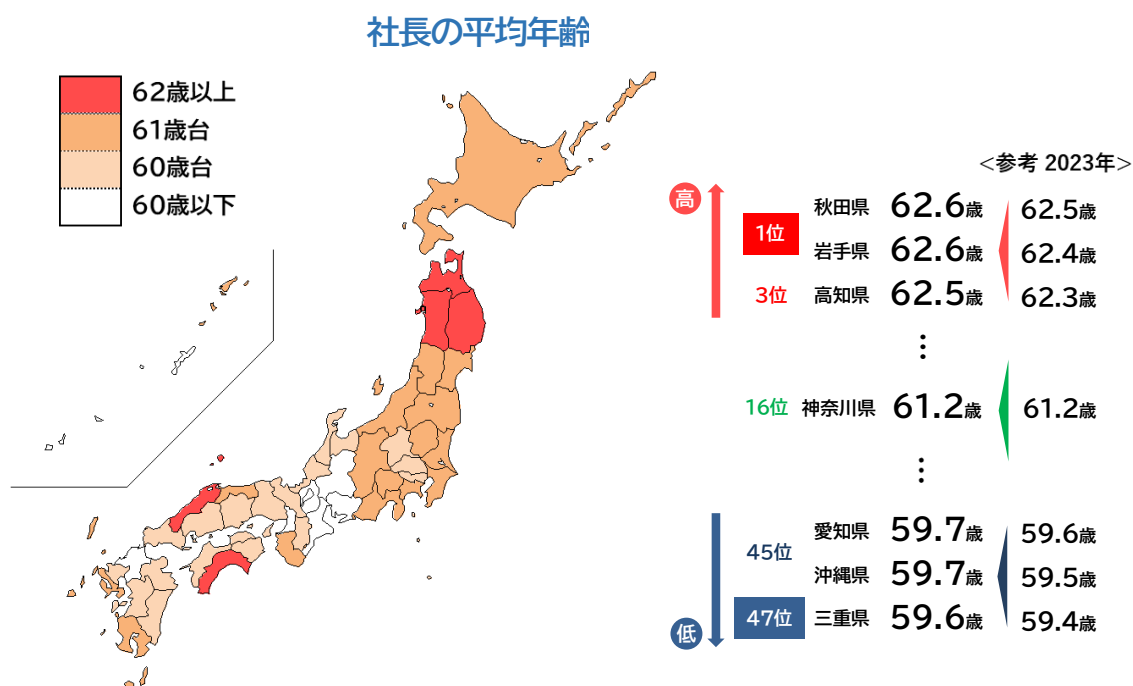


＜参考：都道府県別＞ 都道府県別、秋田県と岩手県が 62.6 歳でトップ

都道府県別でみると、秋田県（2023 年比+0.1 歳）と岩手県（同+0.2 歳）が 62.6 歳で最も高かった。岩手県は、5 年ぶりのトップとなった。次いで、高知県（62.5 歳、同+0.2 歳）、青森県（62.3 歳、同+0.1 歳）が続いた。とりわけ、東北地方の 6 県がすべて全国平均（60.7 歳）を上回り、社長の高齢化が顕著である。

一方、最も低かったのは三重県の 59.6 歳（同+0.2 歳）で、8 年連続で最も低かった。その他、愛知県や沖縄県（いずれも 59.7 歳）など、60 歳を下回ったのは 7 府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。

なお、47 都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下したのは、熊本県（60.1 歳、同-0.1 歳）と大分県（60.3 歳、同-0.1 歳）の 2 県のみだった。また、横ばいは 3 県だった。



【 内容に関する問い合わせ先 】

（株）帝国データバンク 横浜支店 情報部

堀 皓貴

TEL 045-641-0380 FAX 045-641-2555

E-mail kouki.hori@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。